

IoTで風呂場のカビ臭対策と 事業化の取り組み

城田 正

仮説検証における課題

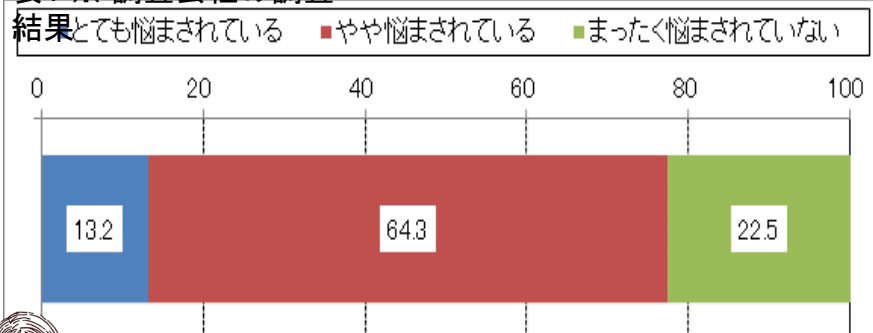
風呂場のカビ臭対策で悩んでいる。健康被害も気になりこの課題を解決したいと思う顧客の潜在的なニーズを仮説検証で掘り起こしこの課題をなんとかしたい。

手法・ツールの適用による解決

カビの発生原因である4要素を取り上げ、コスト的に削減可能な湿度を機械換気により抑制し、カビの増殖を防ぐシステムをIoTで構築するとともに、ビジネスモデルキャンパスで実際のサービス事業化につなげる。

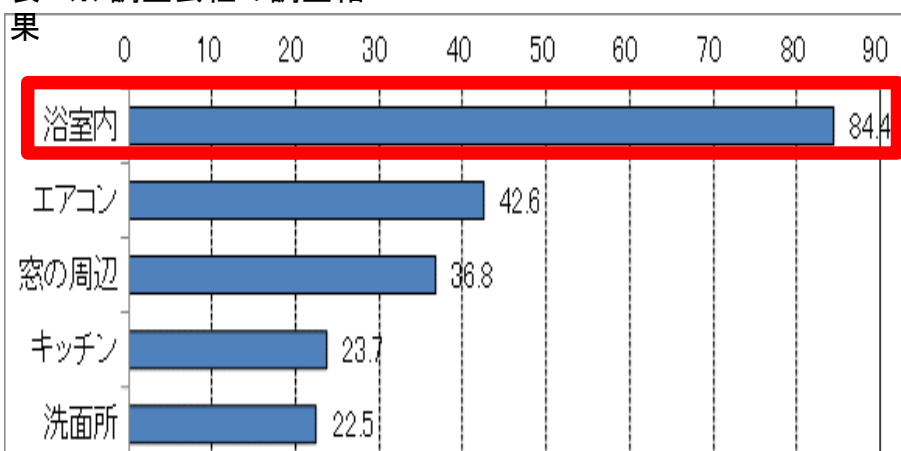
“カビ”に関する意識調査

表1 ※ 調査会社の調査



約8割の人がカビで悩んでいると答え、具体的に風呂場のカビ臭で困っている。

表2 ※ 調査会社の調査結果



対策アプローチ

カビはどんな条件下で発生するの？

カビ発生4要素(条件)

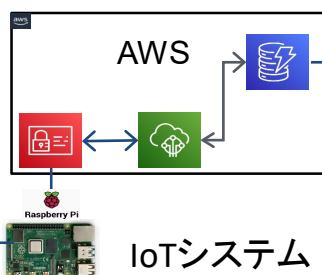
- ① 温度20℃～30℃
- ② 湿度70%以上 ← IoTシステムで60%以下に抑制
- ③ 酸素がある
- ④ 栄養素がある



換気扇

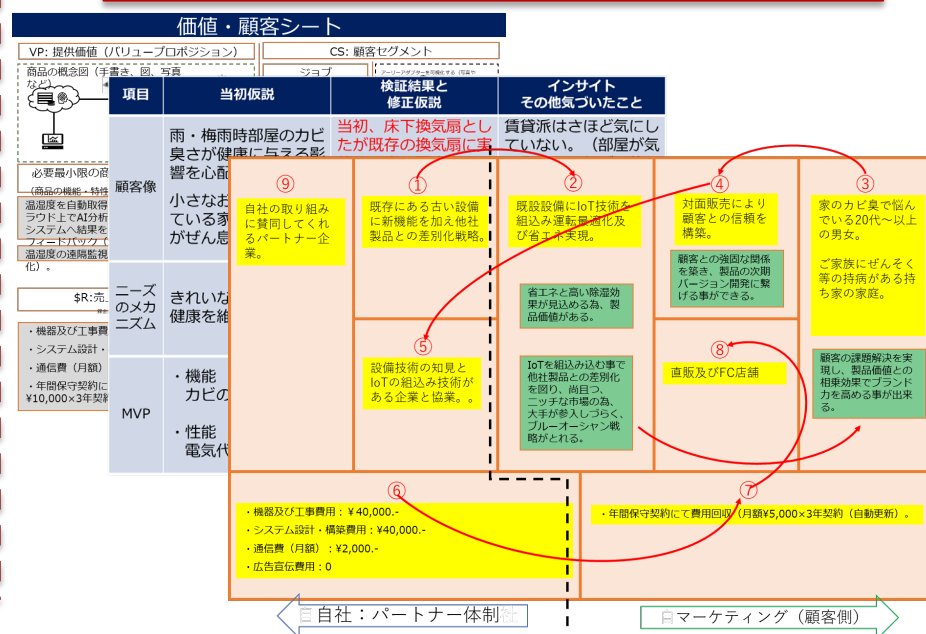


Raspberry Pi



IoTシステム

仮説検証/サービス事業化



Business Model Canvas作成してリスク分析を行ない、事業として成立するかチェック。